## 北陸地区会・富山「きときと会」の活動報告

### 「歩こう会」１０月例会

昨年は、コロナ禍で中止しましたが、今年は絹織物で栄え「越中の小京都」と称される南砺市城端のまち歩きを１０月２５日（月）に男性７名、女性５名の参加で実施。

１０時に各自マイカーで指定の駐車場に集合し、まず一向一揆に加勢し江戸時代には加賀前田家の厚い庇護を受けた真宗大谷派の古刹・城端別院善徳寺を拝観。本堂の他、対面の間、御殿、前田利長が宿泊した大納言の間など寺院係員の案内で見学。

善徳寺山門

善徳寺御殿

次はユネスコ無形文化遺産に登録の城端曳山祭の曳山や庵屋台が常設展示してある城端曳山会館に立ち寄る。館内では会館スタッフの説明で彫刻と漆の美を凝らした伝統伎の結集を堪能しました。

午後からは地元ボランティアガイドさんの誘導案内でまち歩きを行いました。絹織物工場や格子戸の町家、石畳の通り、倉庫群、車がとおれないような小路や坂道を昔ながらの歴史文化、生活の息遣いを感じながら巡りました。ガイドさんへの質問も多く、城端の町を楽しく勉強させていただき、１５時頃に解散し帰途につきました。

倉庫群

城端まち中散策